

ガーデンシティ舞多聞 てらいけプロジェクト 第4回公開講座を開催しました

2011年12月17日(日)午後1時30分より、ガーデンシティ舞多聞 てらいけプロジェクト 第4回公開講座を開催しました。

この度の公開講座は、同3月13日に開催を予定していましたが、2日前に発生しました東日本大震災の被害が甚大であったことから、急遽中止させていただいたものの再開でした。この度は、再度お申込みをいただいた方を含め、23組48名の方にご参加いただきました。

まずは講演に先立ち、神戸芸術工科大学 齊木崇人学長より挨拶があり、先行地区である「みつけいけプロジェクト」について経緯や現在の様子、今回の「てらいけプロジェクト」にも神戸芸術工科大学として全面的に協力していきたいとお話をいただきました。

第1部は同大学 佐々木特別准教授による「まちづくりとアート」に関する講演と、てらいけプロジェクトの現地見学を行いました。第2部は、大地の芸術「舞多聞焼」アートプロジェクトとして、同大学教授で陶芸家の市野先生を講師に、てらいけプロジェクト現地の土を使った陶板に絵付け体験をしていただきました。

【プログラム】

13:00 受付開始

第1部

■神戸芸術工科大学 佐々木特別准教授による講演+てらいけプロジェクト現地見学

【場所】神戸芸術工科大学1105講義室
てらいけプロジェクト現地

第2部

■大地の芸術「舞多聞焼」アートプロジェクト

【場所】神戸芸術工科大学クラフト工房

17:00 終了



齊木学長の挨拶

第1部 神戸芸術工科大学 佐々木特別准教授による 講演+てらいけプロジェクト現地見学

第1部は、佐々木宏幸特別准教授より「まちづくり×アート=∞」についての講演と、てらいけプロジェクト現地見学を行いました。

まずは、これまで開催された公開講座の内容を簡単に振り返り、参加者の皆さんに情報を共有していただきました。

また、てらいけプロジェクトのまちづくりと第2部の陶板の絵付け体験にどのような関連があるのか、フロリダ州パナマシティ「シーサイド」というまちを事例に講演いただきました。

今回用意した20センチ四方の陶板には、てらいけで採れた土が入っており、第2部で参加者の皆さんが「てらいけプロジェクト」に対する想いを絵や文字で表現した陶板は、入居後、外構や歩道空間の一部として、てらいけに帰ってくることで、まちなみの一部になるでしょう。

「シーサイド」の事例では、各住宅の外壁やフェンスなどにプレートが掲げられており、そこに住む人の住まいに対する想いや、出身地などが書かれています。このような住まい手の存在を感じ取れる「ちょっとした工夫」が住民同士のコミュニティ形成、更には、魅力的なまちづくりに繋がることを分かりやすく説明いただきました。

参加者の皆さんはどのような想いを作品に描かれるのでしょうか。

■これまでの公開講座の内容

第1回:「みつけいけプロジェクト」の事例紹介+現地見学会

第2回:海外の先進的なまちづくり事例紹介

第3回:みつけいけ住人とのトークセッション



佐々木特別准教授による講演



第1部講演の参加者の皆さんの様子

てらいけプロジェクト現地見学

講演の後は、てらいけプロジェクトの現地を見学しました。現地では造成が進み、参加者の皆さんには、ゆるやかなカーブを描く道路線形を確認していただきました。また、実際に現地を歩かれ、宅地造成の状況や周囲の眺望を確認し、緑地に囲まれた暮らしなど、てらいけでの暮らしをイメージされた様子でした。



てらいけプロジェクト現地での説明



現地を実際に見てもらいました



現地で記念撮影

第2部 大地の芸術 [舞多聞焼] アートプロジェクト

第2部は、芸工大教授で陶芸家の市野元和先生を講師に、参加者の皆さんで「舞多聞焼」と名づけた陶板に絵付けを体験していただきました。まずは市野先生がデモンストレーションを行い、ろくろで茶碗や皿などの器が次々と作られていく工程を見せていただきました。定規も使わずに、ふた付きの器に別に作ったふたがぴったりと合ったときには、会場から大きな歓声と拍手があがりました。

絵付け体験は、素焼きの陶板に、てらいけでの暮らしや街並みをイメージした絵や文字を書いていただきました。小さな子供さんの手形、足形を記念に残す方もいて楽しいワークショップになったようです。絵付けした陶板は、釉薬をかけて窯焼きし、次回の公開講座・WSでお渡しする予定です。



舞多聞焼の陶板に絵付けを体験



記念にお子さんの手形を残す方も



ろくろで茶碗づくりも体験

【参加者の皆さんの感想】

アンケートに寄せられたコメントの一部を紹介します。

〈第1部〉

- ・まちづくり概要がわかって楽しかった。造成が進んでおり、どのようなまちになるのかイメージしやすかった。
- ・講演は、簡潔にまとめられており、わかりやすかった。現地は予想以上に広く、緑が多く残されていた。

〈第2部〉

- ・普段体験できないことを体験できて良かった。またテーマも舞多聞の土を使うところがよかった。
- ・ろくろを使って整形するところを初めて見て感動した。別々に作った器とふたがぴったり合ったときは驚いた。



作品と一緒に記念撮影